



※コロナウイルス感染状況によっては
イベントの変更があります。

<図書館イベント>

12月	日時		内容	会場	
	日	時			
5 (土)		11時～	おはなし会 (まほうの箱)	○	
		14時～	おはなし会 (やまびこ会)	○	
6 (日)		9時30分～	直方歴史さんぽ (事前申込が必要です)	◇	
12 (土)		14時30分～	おはなし会 (赤ずきん)	○	
13 (日)		10時～	おもちゃ病院 (おもちゃの修理) ※受付13時まで	◇	
19 (土)		14時～	ブラックパネルシアター (なのはな教室)	★	
20 (日)		11時～	おはなし会 (図書館職員)	○	
1月	9 (土)		14時30分～	おはなし会 (赤ずきん)	○
	17 (日)		10時～	おもちゃ病院 (おもちゃの修理) ※受付13時まで	◇
			14時～	おはなし会 (れろの会)	○
	24 (日)		11時～	おはなし会 (図書館職員)	○
		14時～	映画上映「BALLAD 名もなき恋のうた」 132分 (土曜シアター)	★	

○ 図書館おはなしコーナー ★ ユメニティ小ホール ◇ 図書館正面入口 ロビー

★図書館サービスの段階的な再開について★

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、段階的なサービスの提供を行っております。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。最新情報は、図書館のホームページや館内掲示等をご覧ください。

図書館カレンダー

【12月】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	⑤
⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑬	14	15	16	17	18	⑰
⑳	21	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30	31		

【1月】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	⑨
10	11	12	13	14	15	16
⑰	18	19	20	21	22	23
⑳	24	25	26	27	28	29
31						

■ はお休み、太字 は17時閉館、
○ は行事がある日です。

年末年始の貸出拡大

図書館の年末年始の休館

12月28日(月)～1月4日(月)

長期の休館になるため、貸出拡大をおこないます。

★12月15日(火)から 図書・雑誌 3週間

★12月22日(火)から AV資料 2週間

15冊(内:雑誌5冊・AV資料1点) 貸出

展 示 案 内



一般「読んで、観て、楽しむ。～原作本特集～」

11月26日(木)～1月26日(火)

児童「魔法にかけられて～ふしぎな世界へようこそ～」

10月29日(木)～12月22日(火)

図書館HP

Facebook

直方市立図書館 0949-25-2240
開館時間: 火～土 10:00～19:00
日・祝 10:00～17:00



12月のテーマ

祈り

「水引レシピ 暮らし・行事・ハレの日を結ぶ」

田中 杏奈/著 594.9タ

日本の伝統文化「水引」には、相手を想う気持ちや神様への祈りが込められています。

本書では、お正月飾りやクリスマスのリースなど、伝統を継承しながらも現代風にアレンジされた水引が紹介されています。松竹梅のラッピングモチーフも繊細でかわいらしく、日々の生活に取り入れたくなりました。(K)

「鐘を鳴らす子供たち」

古内 一絵/著 Fフ

敗戦後の混乱期に、ラジオドラマに出演することになった小学生たちの奮闘を描いた物語。NHKラジオドラマ『鐘のなる丘』がモチーフになっています。NHKの朝ドラ『エール』でも取りあげられていて、“ラジオドラマ”というものを知りました。

「放送劇は、物語は、きっと祈りなのだ。」
作中にでてくる一文です。

新しい時代、明日はもっと幸せに…と思いが伝わる物語でした。(kn²)

「おうちをつくろう クシュラにおくる詩集」

ドロシー・バトラー/編 K931 ハ

電話をかけたいゾウ、恋をする点灯夫…思わず笑ってしまうような詩や、ほっこりと心温まる詩、ちょっぴりセンチメンタルになってしまいそうな詩など、まるで家族の団欒を眺めているような、素敵な詩がいっぱい集められています。

編者であるドロシー・バトラーが、障害を持った孫娘クシュラと、全ての子どもたちへの愛と祈りをこめた一冊をどうぞ。(フクロウ)

「心がほどける小さな旅」

益田 ミリ/著 B291マ

嫌な事は小旅行でリセット、という作者は、春の桜花賞から鹿児島の大いコンテスト、夏の夜の水族館、秋は山寺を登り、雪の秋田では紙風船上げ等季節に合わせてのんびり楽しむ。何が起こるか分からない今だからこそ、それぞれのやり方で楽しみを見つけ、周りをも明るく。そうして日々を大事に生きる姿は、祈りにも似ている。頑張りすぎる自分にご褒美を。(る一)

「これからお祈りにいきます」

津村 記久子/著 Fツ

サイガサマという神様に「これだけは取られたくない」という申告物を作り、冬至の祭で祈り捧げるといふ風習のある雑賀町。主人公のシゲルは、サイガサマに消極的な思いを持っていたが、アルバイトで冬至の祭に関わったことで思いが徐々に変化していく。

自分のためよりも他人のために祈ることの良さを感じられる一冊です。彼らは、誰のために祈るのでしょうか。(京)

「とびきりすてきなクリスマス」

リー・キングマン/著 KB933キ

主人公のエルクキは、10人きょうだいのまんなか。

クリスマスが近づくある日、働きにでている一番上のマッティの乗った船が行方不明となった。はじめは落ち込んでいた家族だが、マッティの無事を祈りながらクリスマスの準備をすることに。

寒いこの季節に心温まるストーリーはいかがでしょうか。(ダック)

